



質問

「デジタルデバイド」 いわゆる「情報格差」の解消について

町長

町の責務として、しっかり対応をしていきたい

小田川 謙一 議員

質問 人生100年時代と言われるようになり、定年後に新しい仕事を創る人が増えてきているが、どんな仕事をやるにしてもデジタル技術の活用が必要になっている。デジタルシニアが多くいる一方で、デジタルデバイドシニアが多くなることも事実である。町内のDX(デジタルトランスフォーメーション)を進めつつデジタルデバイド解消に向け早期に行政内部に「デジタル推進課」を設置する必要性を感じているが。

※デジタルデバイド…デジタルに不慣れな

町長 現在本町では、総務課内の総務グループにおいて業務を行っている。限られた職員をいかに効率

的に配置していくかが求められている。デジタルデバイドは、場合によっては生命を左右することにも繋がりがかねない。デジタルデバイドにより避難が遅れるなど災害に見舞われることがないよう、町の責務として対応をしっかりとしていきたい。

質問 本町内においても、独り暮らし、孤立・孤独のシニアが増大していると感じている。インターネットを安全・安心に使うことはショッピング、コミュニケーション、防災情報のキャッチ等の対応に大いに役立つと思う。町内の現状及び今後の取り組みは。



誰もが安全・安心にデジタル機器を活用できるように！

町長 各地区公民館において、高齢者を対象にスマホやタブレット、そしてパソコンの講習会を開催している。現在奥出雲町では、インターネットを活用した高齢者の見守り事業を実施しているが機器の耐用年数が経過しており、現在更新も検討中である。デジタルデバイド対策として使えるものを提供していくことも重要だと考えている。

横田高校への進学率低下について

質問 仁多・横田の両中学校から横田高校への進学率が低下している要因は。

を選択する子もいる。生徒数の減少と選択肢の広がりが必要な要因と考える。

教育長 子どもたちの進学先の選択肢が以前の公立全日制の高校以外にもかなり広がっていることが一つある。以前から選択されていた工業

質問 県外進学者を県内(地元)へ呼び戻す手段を真剣に検討すべきだ。

高等専門学校、実業高校に加えて、部活動の継続と、それに加えて、全国大会へ出場できそうな学校

町長 高校生、県内外の大学生に対し、各種情報の提供を実施している。今後も様々な形で対策を実施していく。